

## 第51回岡山県がん診療連携協議会議事要旨

1 日時 令和4年12月 5日(月) 18:00~19:00

2 形態 web会議

3 出席者 54名

4 あいさつ

○開会の挨拶があった。

5 報告事項

### (1) 岡山県

○令和4年8月1日に示されたがん診療連携拠点病院等の新整備指針に基づいて、現在指定を受けているがん診療連携拠点病院7施設、及び地域がん診療病院2施設すべてから指定更新の申請書の提出があった。10月26日に開催された岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会がん診療連携部会の審査を経て全施設を国に推薦する運びとなった。今後は国の方で検討されるので、疑義照会があった際には対応をお願いしたい。県指定のがん診療連携推進病院についても、国指定の拠点病院の整備指針が更新されたことを受けて推進病院の認定要件も見直す必要があると考えており、改訂を検討している。国の指針よりは若干緩和された要件になるかと思うが、方向性は同じなので今一度ご確認をお願いしたい。

○岡山県のがん対策推進計画について、現在国の方でがん対策推進計画の改正に向けて議論されており、今年度中に新計画が示される予定である。来年度は県でも見直しをし、第4次岡山県がん対策推進計画を策定していく予定である。

### (2) 事務局・岡山大学病院

○令和4年度各拠点病院から情報提供があった研修会・講演会について報告があった。引き続き、今後も情報提供いただきたいと依頼があった。

○岡山県がん診療連携協議会HP閲覧統計(R4年度)について報告があった。

閲覧数については、例年同様「セミナー・講習会(医療関係)」が最も多く、「がん相談支援センター」「患者会・がんサロン」と続く。訪問者は9割以上が初回、地域別では約7割が岡山県内となっている。

### (3) 作業部会等

#### ① 地域連携パス部会

○令和4年度岡山県統一版がん診療連携パスの算定実績(R4.8~R4.10集計分)について報告があった。

- ・この期間のパス使用実績は倉敷中央病院が最多であった。
- ・岡山県統一版の5大がんの地域連携パス診療手帳について、「大腸がん」の改訂を進めている。2010年の運用開始から一度も改訂されず12年が経過している。先週オンライン会議を行ったが、パスが古くなって使わなくなっていること、結果的に皆が使い方を忘れてしまっているという状況が見えてきた。今年度中に発行する予定だが、これを機会に各施設で運用方法を今一度再確認していただきたい。

#### ② がん相談支援部会

○9月5日にweb開催された第49回がん相談支援実務者会議、及び市民公開講座について報告があった。

- ・9月のがん征圧月間は各施設でポスター展示を行った。併せて図書館との連携展示も行った。
- ・がん相談員研修について、7月6日に第1回、9月11日に国がん主導で第2回を開催した。
- ・岡山県に、がん診療連携拠点病院等の新整備指針のがん相談に該当する部分について説明していただき、出席委員全員で情報共有した。

- ・テーマ ①新整備指針の「初診時からがん相談支援センターを訪問することへの体制整備」に向けた各医療機関の現状と今後の取り組み、②AYA 世代への支援、妊孕性温存に関する相談対応についてグループワークを行った。
- ・岡山産業保健総合支援センター労働衛生専門職 島村 明氏より「治療と仕事の両立支援について」講演をしていただいた。
- ・岡山県がん診療連携協議会主催の市民公開講座について、11月に収録を行い、12月1日～1月10日まで配信しているのでぜひご視聴いただきたい。また、関連病院等への広報もお願いしたい。

○11月24日に web 開催された第19回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会について報告があった。

- ・「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」の見直しの要点について説明があった。
- ・がん相談支援センターPDC A実施状況チェックリストの更新(案)が示された。岡山県では現在PDC A 3クール目の1年目に入っており、国がんが新しいチェックリストを作成してもすべてを変更する必要はなく、新指針に合わせて追加する項目が必要であれば対応していく。
- ・小児がん拠点病院とがん診療連携拠点病院との連携を強化してほしいという話があった。
- ・「がんと診断されて間もない人へ」の情報資料の活用をお願いしたいという意味もあって好事例の共有があった。岡山大学病院の事例も取り上げていただき、発表した。
- ・「がん情報サービス」から、一般向けに「がんと診断されて間もない人へ」の動画を作成したのでご活用いただきたいと広報があった。(医師向けはすでに公開中)ホームページからダウンロード可能なため、病院内で流したり、患者会にも広報したりしていただきたい。

### ③ 緩和ケア部会

○9月12日に web 開催された第29回緩和ケア実務者会議、及び令和4年度緩和ケア研修会の開催状況について報告があった。

- ・岡山県に、がん診療連携拠点病院等の新整備指針の緩和ケアに該当する部分について説明していただいた。その後指定更新・現況調査が来た。
- ・在宅緩和ケア地域連携パスの使用状況について委員から発議があって調査したところ、便利に使っている施設もあるが、ほとんどの施設ではあまり使われていないという結果であった。約10年前に、病院から在宅への情報共有ツールとして作られたものである。内容を更新する案も出たが、現時点では修正しないという結論に至った。この冊子は協議会ホームページに掲載されており、ダウンロード可能である。また、岡山大学病院が作成した在宅を支える医療機関・薬局のリストも掲載しているが、内容が古くなってきたため代替品ができ次第削除していく方向である。
- ・令和4年度緩和ケア研修会の開催状況について、どの施設も感染対策をしながら開催しているのが現状である。今年度の研修会は岡山県医師会が行う12月18日と、2023年1月28日のフォローアップ研修(オンライン開催)を残すのみである。

### ④ がん看護部会

○8月24日に web 開催された第61回がん看護部会について報告があった。

- ・11月19日にオンライン開催でがん看護セミナーを開催した。岡山済生会総合病院に企画、運営を依頼し、現在アンケート結果をとりまとめ中である。
- ・来年度の活動計画について、各施設に教育・質管理・研修の3つの小グループに入っていただき活動していくこととした。

○岡山県がん診療連携協議会がん看護部会共催で10月29・30日に開催した岡山県がん薬物療法看護指導者研修のアンケート結果について報告があった。

- ・参加者は17施設26名。毎年参加している施設もあるが今回初めて参加した施設もあった。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、初めてすべてをWeb上で行った。
- ・アンケート結果によると、web開催は受講者に好評で満足度は高かった。
- ・例年は20～30代の参加が多いが今年度は経験年数を重ねた40代の参加者が多く、講義の理解度が昨年と比較して高くなっていた。
- ・昨年度の受講者から、がん薬物療法看護認定看護師の教育課程に進んだ方がいてキャリア支援の一助となった成果も得られている。

## ⑤ 研修教育部会

○10月3日にweb開催された第23回研修教育部会、及び来年2月8日に開催予定の2022年度オンライン研修会について報告があった。

- ・開催時期：2023年2月8日(水)が第一候補 リモートで開催 (zoom 利用)
- ・時間：19:00～20:00 (1時間程度)
- ・対象：岡山県内の医師を中心に、看護師・薬剤師・連携室職員等多職種の参加を呼びかける。
- ・テーマ：「連携」をテーマにした事例検討
- ・「連携する上で困っていること」について事前アンケートを行う。アンケートは委員長が作成したものを各拠点病院等に配布し、各施設が連携している病院等に依頼する。
- ・アンケートの回収・集計は事務局が行い、事前資料とする。
- ・事前資料を基に、受ける側の3施設から事例を出してもらおう。(津山中央病院、川崎医科大学総合医療センター、倉敷中央病院が連携施設に依頼する。)
- ・送り出す側として岡山赤十字病院と岡山医療センターにそれぞれ簡単なプレゼンを行ってもらい、その後全体でディスカッションを行う。
- ・県医師会生涯教育講座の単位申請を行う。

⇒2023年2月8日(水) 19:00～20:00 リモートで開催 (zoom 利用)  
テーマ「岡山県のがん診療におけるより良い病病・病診連携に向けて」

・アンケートはすでに協議会参加施設に配布しているが、回答数が非常に少ないので、院内、及び連携している施設に広報していただきたい。

・岡山県医師会生涯教育講座単位について、開催2か月前が申請締切日となっているが、現時点では講師が完全に確定していないため届出ができない状況である。多少遅れても認めてもらえるのかご教示いただきたい。

→岡山県医師会より、概要が決まり次第できるだけ早く出していただきたい、理事会で伝えておくので何とかできるのではないかと回答があった。

⇒できるだけ多くの方にご参加いただきたいので、早急に内容を確定させて単位申請を行うこととした。

## ⑥ がん登録部会

○10月26日にweb開催された第16回がん登録部会について報告があった。

- ・前回の部会で内規を定めたが、医師委員のいなかった2施設から登録があった。
- ・がん登録部会参加施設で予後調査がスムーズに行えるかどうか調査した。検討中と回答した1施設、及び不可と回答した2施設について事情を聴いたところ、がん登録や予後調査の目的を県で統一して明示していただければスムーズに個人情報等も施設間で共有できるという回答であった。今後調整していく。
- ・予後調査に対する患者意思確認(オプトアウト含む)方法について13施設で評価したところ、できている施設もあればできていない施設もあった。こちらも県で統一して適切なオプトアウトが表示できるようにしていく予定である。
- ・岡山県医療推進課より、岡山市の生存確認調査の件数について報告があった。
- ・岡山大学病院より、「岡山県院内がん登録報告書2020年版」について、集計が終わりこれからレイアウトを行うと報告があった。

## ⑦ がん薬剤師部会

○10月26日にweb開催された令和4年度第2回がん薬剤師専門部会について報告があった。

- ・第5回研修会は、「乳がんの薬物療法」「緩和医療」に加え、今回は外部講師を招聘し「ゲノム医療における薬剤師の役割」について講義をしていただく予定である。

引き続き、厚生労働省主催の市民向けシンポジウムについて広報があった。医療用麻薬を適切に用いてがん疼痛を適切に取っていきましょうという内容で、一般市民と医療職が対象である。岡山会場は来年1月21日にハイブリッド形式で開催予定。興味のある患者等に広報していただければと思う。

#### ⑧ 歯科部会

○現在部会メンバーに「がん治療に伴う病診連携に関して（医科拠点病院と開業歯科医院）」についてアンケート調査を実施していると報告があった。結果は次回報告させていただく。また、来年3月4日にがん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン第14回歯科・口腔外科インテンスコースのプログラムとして「がん化学放射線療法中の口腔ケアについて」講演会を企画している。

○岡山県歯科医師会より、医科歯科連携について、拠点病院と歯科との間で個人的な契約が結ばれているケースが多いため組織としてどう関わっていくか考え中であると報告があった。歯科との連携モデルを作ってみる案を考えている。

#### ⑨ がんゲノム医療部会

○2022年度がんゲノム部会の活動報告があった。今年度はまだ部会の開催ができていないので、年度末の開催を考えている。人材育成セミナーは年10回企画しており、月1回のペースで開催している。

#### ⑩ がん・生殖医療部会

○10月4日にweb開催された第3回がん・生殖医療部会について報告があった。

- ・今年度の目標は、妊孕性温存を求める小児・AYA世代の相談・紹介フロー（岡山県版）を作成することであり、各施設で取りまとめて報告していただいた。施設によって患者の背景、がん相談支援センターの状況、生殖医療を行っている産婦人科の有無等の違いがあるのですべてを当てはめることはできないが、県内の標準的なフローの作成を目指している。今年度中には完成させたい。

引き続き、12月13日にオンラインで開催予定のがんと生殖医療についての講演会の広報があった。令和4年度岡山県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業として開催するもので、今後各施設で開催予定である。岡山大学病院では他施設からの受講も認めているのでぜひご受講いただけたらと思う。

(4) 地域がん診療連携拠点病院・診療病院・推進病院  
報告事項なし

(5) その他

6 協議事項  
特になし

7 その他  
○患者会より、がん薬剤師部会で紹介があった市民シンポジウムについて、岩手会場の講演をオンラインで受講した方から、「非常に良かった」との感想をいただいたと報告があった。

8 次回開催日  
次回は、2023年4月開催予定。  
開催日が近くなったら日程調整を行う。  
(対面の場合は岡山大学病院 大会議室、コロナ収束状況次第でweb開催とする)